

住民の皆さまとの話し合いを大切にし、資源循環型施設建設の着実な推進に努めてまいります

資源循環型施設建設・有機物リサイクル施設整備

市政の優先課題であり、上田地域広域連合と連携して取り組んでいる資源循環型施設の建設につきまして、広域連合では令和4年度末に施設基本計画を取りまとめました。市では、施設周辺地域のまちづくりに向けて、余熱利用施設などの周辺整備事業の整備方針の



資源循環型施設建設の環境影響評価の現地調査見学会

素案をまとめました。これらにつきましては、7月には地元地域および圏域住民の皆さまを対象として説明会を開催していきます。

一方、清浄園に代わるし尿前処理下水道投入施設の建設につきましては、地元之下条自治会と公害防止協定を締結いたしました。自治会の皆さまのご理解とご協力に感謝申し上げます。

生ごみを堆肥化する有機物リサイクル施設の整備につきましては、丸石地域の陣場地区にある畜産団地跡地を建設候補地として、令和3年度から「陣場地区有機物リサイクル施設調整会議」において、施設での対策や地域振興などの協議を重ね、3月30日に周辺自治会と「有機物リサイクル施設の設置に関する基本協定」を締結し、施設整備に向けてご理解をいただいたところです。

今後の施設整備に向けましても調整会議や地域の皆さまにご理解をいただきながら、丁寧に事業を進めてまいります。

ゼロカーボンシティうえだの実現に向けた取組

令和3年2月に「2050年ゼロカーボンシティ」を目指す旨の表明以降、これまでに「上田市地球温暖化対策地域推進計画」を策定するとともに、庁内に「ゼロカーボンシティ推進本部」を設置し、市全体の温暖化対策に取り組んでまいりました。

また、国の温室効果ガス削減目標が令和3年に改定されたことを踏まえ、今年3月には「地域推進計画」を大幅に改定したところです。

さらに、国が策定した「脱炭素地域ロードマップ」に基づき、モデル性のある先進的な取組により脱炭素を実行する「脱炭素先行地域」の選定に向け、準備を進めてまいります。

引き続き、「ゼロカーボンシティうえだ」の実現を目指して鋭意進めてまいります。

地域防災力の向上と災害に強いまちづくり

大規模自然災害に備え、市では

行政管理課 23・5163

「上田市地域防災計画」および「上田市国土強靱化地域計画」などに基づき、災害に強いまちづくりに向け取組を進めてまいります。

また、大雨による住宅地などへの浸水被害を防止・軽減するため、国や県とも協力し、河川や排水路、洪水調整池などの整備を進めるとともに、市の施設を活用した浸透施設などの整備や河川ライブカメラ映像の提供など、流域治水対策も進めてまいります。

一方、災害対策を担う市の危機管理防災体制の強化として、今年4月からは、危機管理防災課を市長直轄組織として位置づけ、情報収集や判断伝達機能の一元化により防災対応力の強化を図っております。

地域の防災活動が継続的な取組につながるよう自主防災組織に対する防災用資器材購入補助金の補助条件や対象品目の見直しを行いました。

市民の皆さまや防災関係機関との連携により地域防災力の向上に向けて取組を進めてまいります。

スマートシティ化への取組

企業のDX化・デジタル活用が急速に普及する中、地域企業においては専門人材が不足している状況にあることから、ERECを中核に地域企業・各機関などと連携しながら、実践的な研修プログラム



+519worklodge(上田市技術研修センター)でのテレワークの様子

を構築・展開し、「産業・DX人材育成事業」を進めてまいります。また、出産・育児などにより就業を中断している女性などを対象として、デジタル人材の育成や起業家の創出に向けた伴走体制の構築と各種セミナーを実施してまいります。

スマート農業の実証事業では、先端機器を活用した遠隔営農指導、きゅうり栽培ハウス内へのセンサー設置による栽培環境情報の取得などに取り組んでまいりましたが、これに加え、アスパラガス栽培でのデータの蓄積や検証、先端技術を活用したりんご栽培での作業工程の講習動画の作成など、農業の生産性向上や新規就農者の育成支援に向け、引き続き取組を進めてまいります。

健康・子育て施策への取組

がん治療に伴う外見の変化による気持ちの辛さを和らげる「アピアランスケア」の取組が欠かせないものとなっています。がん患者の皆さまの心理的負担を軽減し、就労や社会参加を支援するとともに療養生活の質の向上を図ることを目的として、頭髮や乳房の補整具などの購入費用に対する補助事業を新設するために、関係する予算を今定例会に計上しました。

県におきましても、今年度から市町村が実施する補整具などの購入費用に対する補助事業への支援を開始したことから、県と連携を図りながら、がん患者の皆さまが自分らしさを失うことなく生活を維持できる環境を整えてまいります。

子育て施策につきましては、市では「上田市出産祝金」を今年度から開始し、また、低所得の子育て世帯生活支援特別給付金は、5月から給付を始めるなど、市独自の取組を含め、積極的な子育て支援に取り組んでおります。

保育所での使用済みおむつの処分に係る取組は、保護者の子育て負担の軽減や感染症防止、さらには保育士の業務負担の軽減を図ることを目的として、保育所などでの処分を進めてまいりたいと考え、関係する予算を今定例会に計上しました。

引き続き、妊娠・出産期から子育てまでの切れ目のない支援を目指してまいります。

上田の「歴史と魅力」を生かしたまちづくり

日本遺産につきましては、千曲市、長和町と連携したスタンブラリーを8月末まで開催しておりますほか、日本遺産認定3周年記念事業として、6月18日には、安楽寺大日如来像と中禅寺薬師如来坐像の特別公開を予定しております。

また、持続的で魅力あるまちづくりの財源として活用するため、新たにふるさと寄附金に「日本遺産応援コース」を設けたところでございます。引き続き、官民一体となって、観光誘客や地域振興に生かしてまいりたいと考えております。



整備を進める上田城跡公園

上田城の櫓の復元につきましては、これまで、古写真や絵図などの資料収集に継続的に取り組んでまいりましたが、なかなか成果が得られていない状況であります。このため、7月から新たに懸賞金制度を設けて、メディアやSNSなどを活用し、市内外へ広く情報提供を呼びかけていきます。

また、上田城跡の武者溜りや櫓の復元に向け、昨年度から実施している旧市民会館駐車場や三十間堀跡の発掘調査の状況を情報提供するとともに、シンポジウムやパネル展などを開催するなど、城跡整備の気運醸成に向けた取組も強化してまいります。

教育施策への取組

学校給食関係では、エネルギー・食料品などの物価高騰が続いている中で、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して、学校給食の食材費などのさらなる価格上昇分に対応する予算を今定例会に計上しました。

現在建設中の新第二学校給食センターは今年中の完成を目指し、併せて新センターの稼働、食物アレルギー対応食の提供に向けた整備を進めてまいります。

第五中学校改築事業につきましては、現在、既存の屋内運動場の解体を進めております。

校舎棟建設工事におきまして、建築主体工事ははじめ、機械設備工事と電気設備工事に着手するため、今定例会に請負契約の締結に係る議案を提案いたしました。

公立大学法人長野大学の取組

今年度から令和10年度まで6か年の公立大学法人長野大学の第二期中期目標がスタートしました。学部学科再編につきましては、新たに小林淳一学長をお迎えし、新体制の下、学内に新教育組織設置委員会を置き、理工系学部長予定者の吉田善一副学長を中心として、カリキュラム編成などの新学部構

想の具体化作業が進められております。

新棟の建設では、有識者などによる「長野大学新棟建設工事総合評価審査委員会」を設置し、新棟設計・建設業者の選定を進めると同時に、理工系学部設置などの財源確保に向け、国の制度として創設された「令和5年度大学・高専機能強化支援事業」助成金を申請いたしました。

市といたしましては、大学全体の教育研究の質が向上し、地域貢献に寄与する機関となるよう、設立者として積極的に関与してまいります。

提案説明はインターネットで動画・全文をご覧ください



市ホームページ



動画はこちらから